



「安全だけでいい」わけがない

[あとで読む](#)

【尊厳ある介護（24）】介護に対する思いを、施設建築で表現

公開日：2017/12/19 (ソサエティ, 未分類)

里村 佳子 (社会福祉法人呉ハレルヤ会呉
ベタニアホーム統括施設長)

初めて施設建築に関わったのは20年前
でした。福祉介護に対して知識や経験が
ないのに、建築会議で図面を見せられ意
見を求められても、せいぜい床や壁の色
など希望を述べるのが精いっぱいでは
した。

それから9年後の平成18年に、新たに施
設を建てる機会に恵まれました。最初の
施設をオープンした後、私は、さまざま
な所に行って福祉介護を学び、いろい
ろな施設を見学しました。多くの高齢者と
接し、介護に対する思いもつのりました。



井戸端とサイコロの目のドア (里村氏提供)

そして、新しい施設は、介護に対する思い（ソフト）を建物（ハード）に表現し
たいと考えるようになったのです。

私は、高齢者が自分の一生を振り返り肯定して受け入れるには、最後のステー
ジの過ごし方がとても大切だと考えます。前半の人生がいくら人や物に恵まれて幸せ
でも、最後の時に自由がなかったり、淋しかったり、尊厳が守られなかったとした
ら、悔いなく人生を閉じれるのでしょうか。

しかし、介護をする側からすれば、どうしても安全を一番に考え過ぎて、利用者
の意欲、個性、自尊心を削ぐことがあります。

私は、例え転倒リスクがあっても、自分で歩きたいと利用者が希望されれば、それを支援したいです。

いつも見守られるのではなく、一人の空間も大切にしたいのであれば、その環境を整え、不安で誰かの側にいたいと言われるのであれば寄り添う、そんな介護をしたいと願い、新施設にはその思いを散りばめました。

外観は、コンクリートの打ちっぱなしです。以前他のグループホームで火災があり、利用者が亡くなられたことを考えると、火災や災害に強いので安心です。

1階に、小規模多機能ホームがあり、2階はグループホームです。外観は、スタイリッシュでクールなのですが、中に入ると高齢者が懐かしくなる長屋をイメージした軒下があります。

フロアの中央には階段があります。この階段は、あるスタッフから、利用者が落下する危険性があるので、ドアをつけ見えない場所に移動したほうが良いのではと意見が出ました。

ところが、別のスタッフが「階段には夢がある。2階には何があるのかと上がってみたくなる」の一言で、フロアの中央に決定しました。私たちは、利用者の夢を支える介護がしたいと思ったからです。

個室のドアは、サイコロの目をイメージしたデザインにしました。1号室には、サイコロの目が1つあります。2号室、3号室とサイコロの目が1つずつ増えていき、その目を数えることで、自分の部屋を認識し脳トレができるように工夫をしています。

トイレは、利用者の身体の状態に合わせて、背もたれ、ファンレストテーブル（前傾姿勢支持テーブル）、手すりのどれかがあるトイレを選択できます。

男性の小便器も設置しました。立って小便器を利用するのは、男性の尊厳につながると思ったからです。

2階のグループホームには、私たちが井戸端と呼んでいるテーブルがあります。このテーブルは中央がくり抜かれていて、そこに強化ガラスがはめ込まれ、1階を覗き見ることができます。天井には天窓があり、人恋しい時はこのテーブルを囲んで、昔を偲んでひなたぼっこや井戸端会議ができたらいいなと思いました。

この施設がオープンして10年経ちますが、実際には夢のある階段はスタッフ専用で、利用者はエレベーターを使用しています。全てが理想とおりに活用ができていないわけではありません。次に改築の機会があれば、床暖房を追加しようかななどと考えています。

ハードの使い方を見直して、尊厳ある介護への思いを問い続けたいと思います。

<この連載は原則水曜日に掲載です。来週から年末年始は休載し、1月10日（水）から再開します>

[続報リクエスト](#)

[マイリストに追加](#)

以下の記事がお勧めです

- > [里村 佳子氏のバックナンバー](#)
- > [トランプ式税制改革は、正しいか？](#)
- > [徳田氏の「生命だけは平等だ」のウソとマコト](#)
- > [「待機児童解消が優先」で各紙一致](#)
- > [オーストリア 極右政党が政権入り](#)

[プロフィール](#)

[最近の投稿](#)



里村 佳子(社会福祉法人呉ハレルヤ会呉ベタニアホーム統括施設長)

法政大学大学院イノベーションマネジメント（MBA）卒業、広島国際大学臨床教授、前法政大学大学院客員教授、広島県認知症介護指導者、広島県精神医療審査会委員、呉市介護認定審査会委員。ケアハウス、デイサービス、サービス付高齢者住宅、小規模多機能ホーム、グループホーム、居宅介護事業所などの複数施設の担当理事。今年10月に東京都杉並区の荻窪で訪問看護ステーション「ユアネーム」を開設。

News Socraは、記者30年、新聞協会賞受賞の元日経新聞の土屋直也が編集長をしています。ネットで本当のジャーナリズムを盛り上げたいと思い、ベテランライターによる独自記事とセレクト記事を掲載しています。

[トップへ](#)

アプリでもご覧になれます



いいね! 0

シェア 0

ツイート



LINEで送る

[この記事編集](#)

[ソクラとは](#)

[FAQ](#)

[編集長プロフィール](#)

[利用規約](#)

[利用案内](#)

[プライバシーポリシー](#)

[著作権について](#)

[特定商取引法に基づく表示](#)

[メーカーソクラ](#)

[お問い合わせ](#)

[お知らせ一覧](#)

[コラムニストプロフィール](#)

Copyright © News Socra, Ltd. All rights reserved